

TUBA・EUPHONIUMの取り扱い

<演奏前の準備>



バルブオイルの注油
バルブケーシングの笠ネジを外しピストンを回さずにまっすぐ途中まで抜きます。

ピストンにバルブオイルを注油してください。

ピストンを元に戻し、笠ネジをしめて、オイルがなじむように数回ピストンを上下させます。

マウスピースの取り付け
マウスピースは軽く回すように入れて入れます。

* 絶対に強く押し込まないでください。抜けなくなることがあります。



ロータリーへの注油
(ロータリーチューバの場合)
ロータリーのキャップをはずし、ロータリーの中央の軸を支えている所にオイルを少量注油します。
(写真A参照)

* ロータリー軸用のオイルを使用してください。思わぬ故障の原因になることがあります。

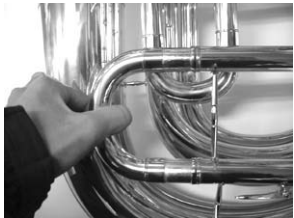


ロータリーの回転軸と軸受けにもオイルを少量注油します。(写真B参照)

キャップをしめて、オイルがなじむようにレバーを数回動かします。

第2 抜き管を抜きます。(写真C参照)
* 抜き管を抜き差しする時は、対応するレバーを押しながら行ってください。

<チューニング>



* 楽器のピッチは温度によって変わります。管内によく息を吹き込んで温めてからチューニングをしましょう。

抜き管を抜く 低くなる
抜き管を入れる 高くなる



ロータリー用のオイルを注油します。抜き管の穴が真上を向くように楽器を支え第2レバーを押ししたまま、左右の穴にオイルを少量ずつ垂らします。このとき抜き管内面にオイルが付かないようにして下さい。グリスがオイルと一緒に流れ込み動きが悪くなります。

楽器を左右に傾け、第2ロータリーのオイルが第1、3、4ロータリーに流れるようにします。

抜き管を元に戻し、レバーを数回動かしてオイルをなじませます。

ピストン番号は、それぞれのピストン底面に刻印されています。

<演奏後のお手入れ>



ウォーターキーや抜き管から管内の水分を出してください。

演奏前の準備と同様にオイルを注油します。

クロス等で管体表面の汚れやほこりを拭き取ります。



抜き管
クリーニングロッドの先端が露出しないように、ガーゼを巻きつけます。

抜き管の内側の汚れを拭き取ります。

抜き管の表面の汚れをガーゼ等で拭き取ります。

抜き管の表面に新しいグリスを塗ります。グリスがなじむように2~3回スライドさせます。



ピストンとバルブケーシングクリーニングロッドの先端が露出しないように、ガーゼを巻きつけます。

ピストンとバルブケーシング内にあるパネを取り出します。

バルブケーシングの内側の汚れを拭き取ります。

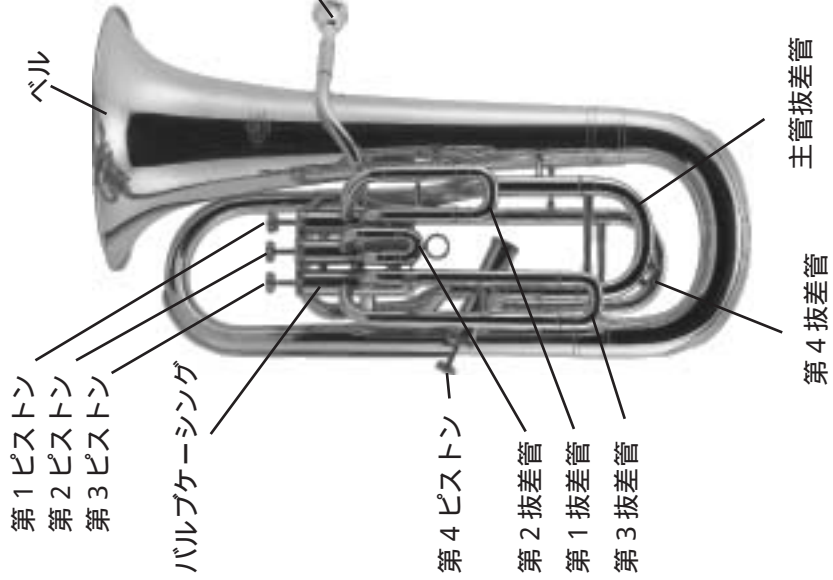
ピストンの汚れをガーゼ等で拭き取ります。

パネをバルブケーシングに戻します。

ピストンの番号と、向きに注意してケーシング内におさめ、バルブオイルを注油します。

< 各部の名称 >

ユーフォonium



チューバ

